

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年 2月23日

【会社名】 ウェルス・マネジメント株式会社

【英訳名】 Wealth Management, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 千野 和俊

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋人形町三丁目 3 番13号

【電話番号】 03-6661-9311（代表）

【事務連絡者氏名】 管理本部 グループ長 木村 健太郎

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋人形町三丁目 3 番13号

【電話番号】 03-6661-9311（代表）

【事務連絡者氏名】 管理本部 グループ長 木村 健太郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

平成27年2月16付で、当社を連結財務諸表提出会社とする連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したと考えられることから、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1)当該事象の発生日

平成27年2月16日

(2)当該事象の内容

(ビジネスホテルファンドについて)

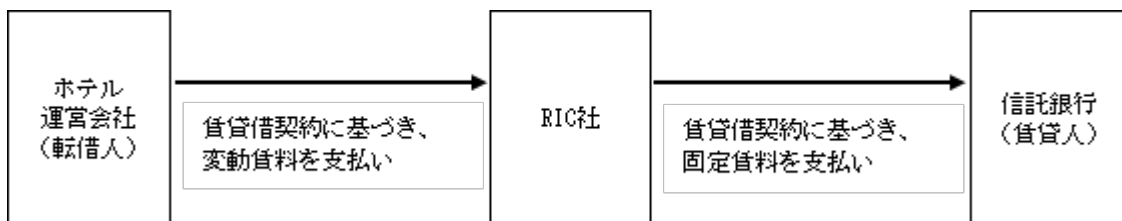
アセットマネジメント事業を展開する当社連結子会社リセス・マネジメント株式会社(以下、「RIC社」といいます。)は、平成26年2月14日付適時開示「当社連結子会社におけるビジネスホテルファンド組成と共同出資、及びこれに係る資金の借入の実施等に関するお知らせ」で公表のとおり、私募形式によるビジネスホテルファンド(以下、「本ホテルファンド」といいます。)の組成及び共同出資を行っております。

本ホテルファンドは平成26年3月下旬に、大阪市の大型ビジネスホテル1棟(ホテル名:ホテルメトロTHE 21、所在地:大阪市中央区、以下、「メトロ THE 21」といいます。)を取得しております。さらに本ホテルファンドは、平成26年11月21日付適時開示に記載のとおり、メトロ THE 21のリニューアル工事を実施しており、これにより利用料金及び利用者数の増加による収益性の向上が見込まれます。

RIC社においては、メトロ THE 21について、信託銀行を賃貸人、ホテル運営会社及びテナントを転借人とする賃貸借契約(マスターリース契約(注))を締結しておりますが、このリニューアル工事の実施に伴い売上増加が期待できることから、平成26年11月21日開催の同社取締役会において賃貸人に支払う固定賃料の改定(平成27年4月1日から)を決議しております。

(注)マスターリース契約:転借人から賃料収入等を受領し、賃借人(RIC社)が賃貸人に対して賃料を支払う不動産賃貸借の契約形態。なお、メトロ THE 21は信託受益権化されていることから、賃貸人は信託銀行となりますが、実質的な所有者は本ファンドです。

(マスターリース契約の概要)



(3)当該事象の連結損益に与える影響額

当期(平成27年3月期)への影響

RIC社は、上記リニューアル工事の実施によりマスターリース収入の増加並びにマスターリースの支払固定賃料の改定により費用の増加を見込んでおりますが、リニューアル工事の完了が平成27年3月頃の予定であることから、当期(平成27年3月期)の連結業績に重要な影響はございません。

来期(平成28年3月期)への影響見込み

平成26年11月21日付適時開示に記載のとおり、来期(平成28年3月期)への影響については、平成27年3月期計画比で、連結売上高91百万円の増加、連結営業利益7百万円の増加となる見通しであります。

RIC社は共同出資として、本ホテルファンドへの優先匿名組合出資を行っており、かつ劣後匿名組合出資者であるWEALTH PARTNERS SINGAPORE PTE. LTD.(当社が39%を所有する持分法適用関連会社であります。)へのマイノリティ出資を行っております。しかしながら、平成26年11月21日付適時開示の公表時点においては、劣後匿名組合出資者であるWEALTH PARTNERS SINGAPORE PTE. LTD.に係る平成28年3月期の持分法投資損益の見込額が未定であったため、来期(平成28年3月期)の連結経常利益への影響額も未定でございました。今般同社の平成28年3月期の業績見込み額が確定致しましたので、これに伴い当社は平成27年3月期計画比で連結経常利益41百万円の増加となる見通しであります。